



危機意識を持って各種の行財政改革が進められています（町役場）



阿部幸一議員

行政改革

特別職報酬の3割削減を

「特別職報酬等審議会」の答申どおり削減

質問 厳しい町財政を考え、特別職の報酬を3割前後削減する考えはないか。

沼崎町長 平成16年1月から本年3月まで、町長は月額10%、副町長・教育長は8%、議長は月額7千円、副議長6千円、議員は5千円の減額をしてきた。この減額は1年ごとに条例を制定し行ってきたが、

根本的な引き下げとするため、本年1月に「特別職報酬等審議会」に諮問し、答申されたとおり引き下げを行っている。

質問 町長の言う「キラリと光る町づくり」を自立して行っていくためには、思い切った行財政改革をすべきではないか。町民にもっと分かりやすい改革を

町の考えを聞く

推進すべきと思うかどうか。
沼崎町長 平成12年に私が就任してから、新たに正直しを行い、行財政改革を

いろいろ進めてきた。その中で、特別職報酬の見直し、管理職手当の削減、寒冷地手当の廃止、職員数の削減などを行ってきた。手を付けてこなかった訳ではない。危機意識を持ち行財政改革を進めてきた結果、一定の成果として現在があることは理解願いたい。

環境整備

豊間根地区の排水路整備

当面は維持補修の範囲で対応

質問 豊間根地区では合併処理浄化槽を設置したくても、放流先がなくてできない状況である。放流先についてどのような考えを持っているか。

沼崎町長 快適な生活を送るためには、合併浄化槽の設置もそのひとつで、放流するための排水路が必要となる。豊間根地区の整備となると現在の厳しい財政状況では、早々に側溝の整備を推進することは難しい現状にある。当面は維持補

修の範囲で対処していきたいと思っている。

質問 第8次町総合発展計画に盛り込むことができないか。また、町長の決断により、起債を使って実施することができないか。

川村副町長 計画策定の際に議論したが、豊間根地区は広範囲であることから、基本的な検討が必要とのことで、8次計画には間に合わなかった。問題意識は持っており、今後の課題として検討していく。